



日米地位協定改めよ



米軍属による沖縄の女性暴行殺害事件とその後の日米政府の対応は、沖縄県民と日本国民の怒りを高めています。日米地位協定の改定を求める県民・国民

の声に対して、全く誠実に聞こうとしない日本政府。それを知っていればこそその強圧的な米軍。「米軍基地があればこそその犯罪だ。基地をなくせ！」という声が高まるとともに、一方では植民地的な地位協定の改定を求める声も高まっています。

この協定の異常さは他国とアメリカとの同様の協定との違いを見れば際立っています。

数年前の「報道ステーション」で特集しています。

◆沖縄と違うイタリアの米軍

日本は地位協定で、基地の管理権を米軍に委ねているが、イタリアは全く違った。イタリア軍のサヴォルディ司令官は「この空軍基地に来る方に念を押すんですが、ここはイタリアの基地でそこに米軍を駐留させているんです。私こそがこの基地の管理権を持つイタリアの責任者になります」

イタリアではすべての米軍基地は、イタリアの軍司令官の管理下に置かれている。イタリア軍は毎日米軍から飛行計画を提出させ審査。訓練飛行にもイタリアの国内法を適用し、昼寝の時間帯には飛行させない等米軍機の飛行回数やルートを制限している。

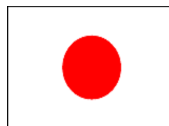
基地内の環境保全についても、基地のある市は「私たちは米軍基地内の立ち入り調査も行い、過去には米軍の土壌汚染への対応を指示し、実際にアメリカ側の費用負担で除去させた事例もあります。基地の外でも1998年、低空飛行訓練の米軍機が、ゴンドラのケーブルを切り、20人全員が犠牲になった事故では、強くアメリカに迫って低空飛行訓練を禁止にした。」

◆ドイツでは

1993年、ドイツは地位協定の大幅な改定を成し遂げた。ドイツでも米軍機にドイツの国内法を適用して飛行制限。環境保全の責任も米軍に負わせている。第二次大戦後、分割占領されてきたドイツは、米軍を始め外国の軍隊が駐留し国民は不平等な地位協定に苦しめられてきた。

改定交渉は、米軍が既得権益を簡単には手放さず難航したが、ドイツ外務省は「一方的な形での駐留は時代

遅れ」だと批判。「対等なパートナー」として扱うようアメリカに強く迫り続けた。「私は交渉の中で言いました。土地を強制的に奪うことはできません。そのような時代は終わりました。あくまで歓迎できるようお客様でいてください。」



◆植民地並みの日本

基地内には日本の警察も立ち入ることができず、返還されても環境汚染された土地の修復は日本の税金で行ない、横須賀

の原子力空母による放射能汚染も検査できない。それどころか日本の空は米軍が管制し、羽田や成田など国際空港といいながら日本の民間航空も事実上アメリカ軍の許す範囲でしか飛べない。沖縄の那覇空港はその最たるもので、空中の狭いトンネルのようなアプローチをくぐって離発着している、怖い空港だという。そして日本全国で我が物顔に超低空飛行し騒音をまき散らすなどまさに日本に主権がなく植民地並み。

沖縄には嘉手納などに広大な米軍住宅や学校、テニスコートやビーチ、巨大なショッピングセンターなど日本の負担で整備して米軍に「居て頂いている」というその姿勢は異常。でも日本政府はこれまで、公式に地位協定の改定をアメリカに申し入れたことはない。ドイツ、イタリアは環境問題や騒音問題などで、斬り込んで実質的に地位協定を改定して権利を平等にしている。

韓国でも「環境条項」が韓米地位協定で創設されていて、基地内での汚染について各自自治体が基地内に立ち入って調査できる「共同調査権」が確立されている。また、返還された米軍基地内で汚染が見つければ、米軍が浄化義務を負う。

沖縄の基地は39%？

在日米軍司令部の交流サイトで沖縄県に米軍施設の74%が集中しているというのは誤解で事実ではないと主張していることが分かった。

その理由は本州には52の米軍施設があるが、沖縄には33の米軍施設があるだけだとしているので施設の数の割合を指しているとみられる。（東京新聞の記事より）

(74%というのは面積である。とんでもないごまかし。)

中谷防衛大臣はこれにたいし「データの見方は様々でいちいちコメントしない」とアメリカには何も言わない。 またか。

スノーデンが語る対米追跡の実態 (元アメリカNSA職員)



2013年アメリカのNSA（国家安全保障局）が世界中の首脳通信をスパイし監視していることを暴露して大騒ぎになったNSA元職員のエドワード・スノーデン。

アメリカの「友好国」の首脳もみな電話などを盗聴されていたというのだ。それは政治家にとどまらず、世界の人々がすべてスパイ、監視されているというのだ。そのスノーデンが国家の犯罪人とされたため、アメリカの追及を逃れてロシアに滞在し、サンデー毎日のインタビューに応じた。彼は日本にも来て2年ほど福生市に暮らし横田基地で諜報に当たった。日本にはアメリカの諜報活動に当たる人間が1000人くらいいるという。

こうして得た情報を基に外国政府に圧力をかける。彼は言う「日本の秘密保護法はアメリカがデザインしたものだ。」NSAの監視網を日本で法的に認めさせると同時に拡大するために。「秘密保護法をつくれればもっと機密性の高い情報を共有できますよ。」というわけだ。こうして日本政府はアメリカの手の内で動かされることになる。

木村草太先生講演会の感想

前回の6月号には感想を載せられなかったのですが、若干タイミングがずれて申し訳ありませんが、皆さんからいただいた感想の一部を掲載いたします。

◆今日は、ご講演ありがとうございました。今、学校のカリキュラムの一環として「平和のあり方」について考えるための憲法学習をしています。なので先生のお話は とても参考になりました。あいまいだった安保法制や集団的自衛権について少しイメージすることが出来ました。ありがとうございました。

◆曖昧な理解で安保法制『反対』というのではなく、もっと学習を重ねなければ・・・と痛感しました。冷静、かつ論理的説明に心打たれました。

木村先生のご活躍を期待すると同時に、自分としても身近な人々に、どう語っていくのか、責任を感じます。

◆考えさせられること、多し！！自分が生きている間に、日本がこのような状況になるとは思っていなかったもので、慌てています。日本人として

統一署名提出

その後の署名239筆を事務局から総がかりの事務所へ送りました。

考えるべきことを先送りしていた自分への問題提起の機会と思い、元気でいられる間は学びたい。今、私たちができることは何か？まず知ることだとは思いますが 焦ります！デモや集会や署名が有効かと自問しつづです。

◆関心を持ち続けることは もちろんのこと、無知では意見を言っても相手にされないのだと思い、第一に意識を得ることが 必要不可欠だと思った。

知ったうえで 考え行動する必要があると思った。

◆ちょっと難しかったかな。

◆集団的自衛権行使は違憲だと改めてよくわかった。その他もろもろ目からウロコで大変よくわかった。

◆話を聞き 興味本位で来場したが、憲法の勉強をさらにしたいと思った。若いのに知見を感じた。

◆憲法について、まったく分からない自分ですが、集団的自衛権のあいまいさがよくわかりました。だから反対しています。

◆初めて、このような集会に参加しましたので、少しむつかしかったのですが、これから、もっと勉強しようという気になりました。先生の理論的なお話に、冷静に事の本質を見抜く力の必要性を感じました。

◆先生の講演は とても歯切れが良くわかり易かった。

◆非常に参考になりました。ただ戦争法案反対と訴えるだけでなく、憲法論的な理論武装も必要です。

◆自衛権の解釈が安保法案により拡大したのではないかと考えています。つまり、緊急事態法などの解釈認定に しっかりした歯止めをかけておかないと拡大解釈により イラクへの攻撃も同様、今後あらゆる国際紛争へのinvoice が心配されるが逆に自民党側はここが狙い目で 国際貢献かアメリカ従属により日本の立場を守るというスタンスになり、ここの価値判断は沖縄の米軍基地も同じ国策優先ですから 個人の利益人権も多少は犠牲となっても仕方がないという考えは戦前から同じ、何が問題かという提案がもう少し聞きたかった。

総がかり実行委員会

7月19日(火) 18:30~

場所：衆議院第2議員会館前~国会図書館前

主催：戦争させない・9条壊すな！

総がかり行動実行委員会

17:00 JR柏駅南口集合で参加しましょう

流山 7月の行動予定

◆7月9日(土)「おたかの森駅」

15:30~ 宣伝

選挙中ですがこれは選挙法の規制とは別です。

カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130-5-464735 口座名 九条の会流山